

つばた

議会だより

No.131

2014.10.5



議会報告会を開催

2P

9月会議 商工業の振興に助成

4P

クローズアップ 新たな町の特産品にアンスを

5P

委員会審議 道路案内標識に英語表記を追加

6P

いっばん質問 子ども医療費を窓口無料化せよなど 8人が登壇

9P

みんななかよし♪

(つばた幼稚園)

意見交換

報告会を開催

7/10

町区長会

開催日時 7月10日 午後4時～

場所 役場2階大会議室

出席者数 35人

内容

道下議長から議員定数の削減、議会改革の取り組みについて説明後、3常任委員会から3月、6月会議での審議内容を説明し、その後意見交換を行った。

意見交換会での主なQ&A

Q 津幡町の空き家の利活用状況、今後の方針は。

A 空き家バンク制度を定め取り組んでおり、売買が成立したものは2軒、借家となっているものが2軒である。また、商店街の空き店舗をまちなか科学館として利用する。

今後、空き家の有効利用につながる提案を議会としても行いたい。

Q 内灘町では街路灯をLED化する予算が計上されたとの新聞報道があった。当町でも、町の事業としてLED化できないか。

A 内灘町では国の事業により5年計画で取り組まれている。当町では防犯灯の新設や取り替え時にLED化を推進している。議会としても内灘町の動向も見ながら、町へ提言したい。



町区長会・町商工会と 議会



7/24

町商工会

開催日時 7月24日 午後7時～

場所 役場2階大会議室

出席者数 32人

内容

10日の報告会と同様に道下議長から説明後、3常任委員会から3月、6月会議での審議内容を説明し、その後意見交換を行った。

意見交換会での主なQ&A

AQ 駅での自転車盗難防止に、防犯カメラ設置を。
津幡駅ではデータ管理の部屋とカメラ8台を設置した。

しかし、ほかの駅にはデータの管理設備がなく、早急にカメラの設置はできない。

AQ 成人式を1月に開催できないか。

町ではアンケートで要望をまとめ、検討している。

AQ 住宅団地の造成計画は。

現在、民間業者による2か所の宅地造成が完了している。ほかにも協議中のところがあり、以前より上向き傾向にある。

AQ 議会を通じて行政に要望を出せるか。

議会には請願・陳情・要望という形で出せる。町長に要望することも可能である。

1億6960万円を可決(全員賛成)
一般会計総額 123億8419万円に

商工業の振興促進に助成

5194万円計上



9月会議を4日から10日までの会議期間で開催した。初日に一般会計・特別会計・事業会計補正予算、条例の制定・改正などを含む16件、決算の認定13件の議案が提出された。引き続き決算審査特別委員会を設置し、25年度一般会計などの決算審査を付託した。その後、町政全般について8人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願1件を不採択、陳情1件を採択、1件を不採択とし、議会提出の意見書2件を可決した。また、教育委員の任命と人権擁護委員の推薦について同意した。

町内における商工業の振興促進を図るため、旭山工業団地で工場増設の申請があったシブヤマシナリー(株)と(株)共和キカイに助成する。

この事業は、町内に用地を取得しかつ工場を新設または増設した場合など、条例に定められた条件を満たした企業に最大で2億円を助成するものである。

今回は、シブヤマシナリー(株)が増設した組み立て工場に対し4894万円を、(株)共和キカイが増設した工場に対し299万円を助成する。

人事

選任された委員

教育委員会委員

正元 喜博氏



(能瀬)
新任

人権擁護委員

高本真紀子氏



(能瀬)
再任

(以上、全員賛成)

決算審査

特別委員会

平成25年度一般会計決算ほか特別会計10件、事業会計2件の決算審査をする。

委員長 多賀 吉一
副委員長 角井外喜雄
委員 八十嶋孝司
荒井 英世
森山 時夫
酒井 義光

こんなことに使われます
クローズアップ

9月補正予算で新たに行われる事業など、一部を紹介します。



▲固定される銘板

ポルトで固定された橋梁銘板の盗難が相次いで発生したため、溶接で固定する。
町管理橋での盗難はなかったが、町内にある13橋梁40枚を対象とする。

橋梁維持修繕費

21万円

感染症予防費

1520万円

予防接種法等の改正に伴い、平成26年10月1日から水痘および高齢者肺炎球菌予防接種が定期接種となるため、予防接種委託料およびシテム改修委託料などを補正する。

来年度開催の全国植樹祭に向け、県内全市町で実施される地域植樹リレーの費用。
植樹されるモミジ350本は県から支給され、植樹は小学生が津幡丘陵公園用地（臨時排雪場）で行う。

森林保全対策

造林事業費

21万円

農業公園の名称を変更
竹橋地区に計画している農業公園の名称を内容に合致したものにすするため、「体験型観光交流公園」に変更した。

農業公園整備事業費

49万円

町の新たな特産品として花と果実の2つの時期が楽しめるアズの栽培を試みる。
周辺農家に50本、町有地に150本を植え、時機を見て農業公園に植え替える。

町道路線の認定

認定



(全員賛成)

- 太田77号線
(太田ほ255番5地先から太田ほ255番24地先まで)
延長—125m
幅員—6・0から11・6m
- 太田78号線
(太田ほ175番3地先から太田ほ175番21地先まで)
延長—106・1m
幅員—6・0から11・7m

委員会 審議

町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

総務（総務・財政・税務・議会・監査・消防など）

◎森山時夫◎荒井 克 向 正則 道下政博 南田孝是 谷下紀義

文教福祉（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎角井外喜雄◎黒田英世 塩谷道子 多賀吉一 谷口正一 河上孝夫

産業建設（土木・農林・労働・商工・上下水道）

◎酒井義光◎八十嶋孝司 西村 稔 中村一子 山崎太市 洲崎正昭
（◎委員長 ◎副委員長）

総務

消防救急デジタル無線 システム設備整備工事

-消防本部-



▲デジタル化される機器

Qなぜ工事が必要なのか。
A消防無線の混信を防ぐため、アナログ方式からデジタル方式に移行する。

Q工事にかかる費用は。
A基地局が7020万円、移動局が5086万円である。

文教福祉

盗難防止のため 図書館に防犯ミラーを設置

-生涯教育課-

Q図書資料の不明冊数増加とは。

A貸し出しの手続きをしないまま持ち出されている本が増えている。

Q防犯対策は。

Aなくなる図書資料の傾向を調べ、受付の近くに置くなどの措置をした。また、防犯ミラーを7か所に設置する。

産業建設

町道の道路案内標識に 英語表記を追加

-都市建設課-

◀国際化に対応

Q当町だけが行うのか。
A北陸新幹線金沢開業に向け、県内各自治体で取り組む。

Q対象箇所は。
A13か所を予定している。

Q改善方法は。
Aシールの貼り替えによるものと、老朽化のため案内板自体を取り替えるものがある。

Q町独自のデザインか。
A国からの補助を受けての事業であり、国の指導に基づき作成する。



▲貸し出し手続きを

Q被害はどれくらいか。
A平成25年度には339冊がなくなり、金額にすると59万円相当である。

Qなくなった図書資料は補充しているのか。
A後日返却されることもあるが、リクエストがあればすぐに補充している。利用者に迷惑がかからないように対応している。

Q防犯対策は。
Aなくなる図書資料の傾向を調べ、受付の近くに置くなどの措置をした。また、防犯ミラーを7か所に設置する。

請願1件・陳情2件を審査

採択

軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める

◎陳情者 軽度外傷性脳損傷仲間の会代表

藤本 久美子
(賛成14人・反対3人)

主旨

軽度外傷性脳損傷(MTBI)は、頭部に衝撃を受けたことにより、脳の情報伝達を担う神経線維組織が断裂し発症する病気である。MRI検査などでは発見されにくく、労災認定にならないケースが多い。認定基準を改正し、受給できるようにせよ。

右記の採択された1件の陳情は
意見書として内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

意見書

国へもの申す

教育予算の拡充を求める意見書

文教福祉常任委員長 角井外喜雄

- 1 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の拡充を図ること。
- 2 校舎の耐震化、修繕費、教材備品の確保等、学校教育環境の整備に必要な予算措置を行うこと。
- 3 子どもと向き合う時間の確保を図り、授業時数増に対応し、きめ細かい教育ができるように、教職員定数改善計画を策定すること。

(全員賛成)

不採択となった請願・陳情

雇用・労働法制の改悪に反対する意見書の提出を求める

◎請願者 津幡町越中坂

西村 善男
紹介議員 塩谷 道子
(賛成1人・反対16人)

委員会の主な意見

労働者の直接雇用への誘導や処遇改善は必要だが、企業側、労働者側にそれぞれ求めるものがある。請願者の言い分は一方的であり、法案が改悪と批判するのは考えに偏りがある。

賛成

直接雇用、8時間労働など労働者を守るための規制をなくしていくことは、長時間労働、過労死、不安定な生活を増やし、景気をも悪くする。当該委員会には労働者側の代表者が入っていない。

塩谷 道子 議員

国の教育予算を拡充することについて

◎陳情者 連合石川かなざわ地域協議会議長

福田 佳央
(賛成2人・反対15人)

委員会の主な意見

教育予算を拡充することについては全員賛成しているが、陳情には30人以下学級が望ましいという文言が多くあり、この考え方には賛成しかねる。

一般会計
補正予算

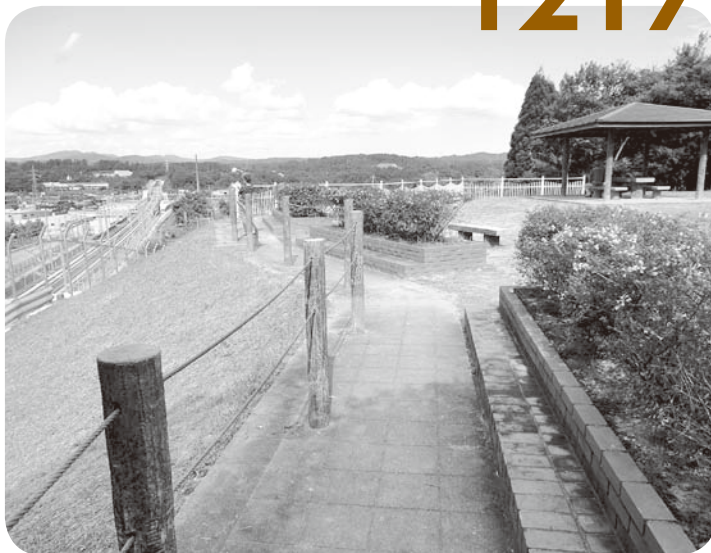
3433万円を可決

(全員賛成)

一般会計総額122億1459万円に

新幹線の見える丘公園を整備

1217万円計上



▲待ちどおしい新幹線の開業

7月17日に7月会議を開催し、一般会計補正予算、財産の取得の議案2件が上程された。議案は各常任委員会の審議を経て可決した。また、農業委員会委員4人を議会推薦した。

○地域公園等管理費

1217万円

新幹線の見える丘公園の整備に当たり、トイレや転落防止のフェンス設置などを追加する。

○消防団操法大会出場費

159万円

中条分団が、石川県消防操法大会に河北都市消防団連合会代表として出場するための費用。

○科学教育振興事業費

278万円

まちなか科学館に係る各種実験用の備品購入費や科学技術を競うロボットコンテスト(中学生の部)全国大会派遣費など。

○全国大会等派遣費

173万円

津幡南中学校のボート、陸上の全国大会派遣費および囲碁、卓球、ゲートボール、バドミントンの全国大会出場補助金など。

財産の取得

○町営バス車両 1台

2494万円

(全員賛成)

議会推薦

○農業委員

加藤恵利子氏 (潟端)

川本 正明氏 (川尻)

松田 直子氏 (上大田)

矢田 富郎氏 (庄)

(全員賛成)

皆さまの善意 豪雨被災地へ届け!!

— 広島市豪雨災害 —

義援金箱を

町内に設置

議会では、被災者支援を目的に町内10か所に義援金箱を設置した。

◇設置場所

・役場

・文化会館シグナス

・俱利伽羅塾

・ウエルピア倉見

・サンライフ津幡

・北國銀行津幡支店

・北陸銀行津幡支店

・金沢信用金庫津幡支店

・のと共栄信用金庫

津幡支店

・JA石川かほく

津幡支店

◇設置期間

9月16日(火)から

10月9日(木)まで



▲多くの善意を

ズバリ

町政を問う

8人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。

- 1 塩谷 道子 議員……………10
 - ・子ども・子育て支援新制度を現行制度から後退させるな
 - ・子ども医療費を窓口無料化せよ

ほか3問
- 2 中村 一子 議員……………11
 - ・休日・土曜延長保育の拡充を
 - ・病児保育を河北中央病院で実施せよ

ほか2問
- 3 南田 孝是 議員……………12
 - ・高齢者の外出支援策を
 - ・まちづくり提案型補助金制度の創設を

ほか1問
- 4 酒井 義光 議員……………13
 - ・農業後継者育成と農産物の特産化を
 - ・空き家をシェアハウスとして活用せよ
- 5 八十嶋孝司 議員……………14
 - ・危険箇所の周知徹底を図れ
 - ・資源ごみのリサイクルへの取り組みは

ほか1問
- 6 荒井 克 議員……………15
 - ・運動公園多目的競技場を人工芝に
 - ・並行在来線の乗り継ぎ運賃は

ほか2問
- 7 黒田 英世 議員……………16
 - ・学校の避難所としての機能を強化せよ
 - ・不登校児「ゼロ」に向けて取り組み
- 8 西村 稔 議員……………17
 - ・中山間地にエネルギーパークを

議会を傍聴しましょう

◎次の町政一般質問は
12月会議に行われます。

議会の会議録は
町議会ホームページで
みることができます。

お問い合わせは、
議会事務局 (Tel.288-6410)

ん質問



塩谷道子 議員

子育て支援

現行制度から
後退させるな

よりよい制度に向け
準備を進めている

塩谷 議員

子ども・子育て支援新制度が来年度から実施される。保育時間を認定されても延長保育は現行のとおりに行われるのか。また、

保育時間の認定は保護者の就労状況が基本となるが、障害児など子どもの状況も考慮すべきである。保育料を増額しないよう求める。



▶見て見て、できたよ
(能瀬保育園)

現在町では、新制度への移行でどのような影響が生じるかを精査確認中である。保育時間の認定、延長保育の取り扱い、保育料の階層決定や金額変更は、影響を少なくするよう、国の経過措置案も考慮し、よりよい制度に向け準備を進めている。

羽塚 健康こども課長

窓口無料化せよ

町単独では考えていない

子ども医療費



▲還付手続きはこちらで

塩谷 議員

実質賃金が大幅に低下している上に消費税増税が重なり、暮らしは苦しくなっている。厚生労働省の調査では、子どもの貧困率は16・3%と上がり、先進20か国中ワースト4位である。低所得者層では、子どもの健康にも影響が出ている。子どもが病気になっても安心して病院へ行けるよう、医療費の窓口無料化を求める。

矢田 町長

これまで何度もお答えしたとおり、町単独で行うことは、現状では考えていない。

その他の質問

- Q** 農業公園の見直しを。 **A** 考えていない。
- Q** 国保税を引き下げよ。 **A** 現段階では考えていない。
- Q** 雇用促進住宅津幡宿舎を買い取り、災害時の避難住宅に活用せよ。 **A** 被災者住宅確保の目的だけでは購入しにくい。



中村一子 議員

ズバリ
町政を問う

いっば

休日・土曜延長
保育の拡充を

実施園の拡大を検討中

乳幼児保育

中村 議員

保育園児約1400人のうち、20%が2歳未満児である。受け入れ体制は万全か。
河北郡市の公立の保育園で休日保育がないのは当町だけである。休日保育と土曜日19時30分までの延長保育を実施せよ。
また、障害児保育事業への対応は。

矢田 町長

本年4月から町立保育園では嘱託保健師を2人増員し、受け入れ人数を拡充した。町全体では待機児童はいない。

町立保育園での休日保育は現在の職員体制では困難だが、土曜延長保育は中条南保育園で19時30分まで行っており、実施園の拡大を検討中である。子育てサポートセンターでは、土、日、祝日の8時から19時まで預かり保育を実施している。
園児の障害の状態に応じて保育士の追加配置を行っている。



▲病児保育室「すまいる」

病児保育

河北中央病院で

実施せよ

金沢医科大学の施設

利用に向けて協議中

中村 議員

河北中央病院で病児保育を行えないか。
金沢医科大学病院の病児保育室「すまいる」では小学3年生までを受け入れているが、内灘町単独による補助金事業である

ため津幡町民は利用できない。当町の住民も利用できるよう、河北郡市で協議できないか。
町の病後児保育の利用状況も問う。

矢田 町長

河北中央病院には小児科外来を設置しておらず、施設環境の整備、専門職員の確保などが困難なことから、病児保育の実施は考えていない。

「すまいる」の利用は、すでに実施に向け内灘町と協議を重ねている。
平成25年度の病後児保育の年間利用状況は、私立保育園3園で延べ894人であった。

※病児保育

入院するほどではないが、保育園、学校などで過ごすには体調に不安を抱える病気の子どもを、病院や保育所等の専用スペースで一時的に保育を行うこと。

その他の質問

- Q 審議会等の女性登用40%を実現し、男女共同参画の推進を。
- A 女性委員比率は毎年順調に増加している。
- Q 戦後70年に向け、恒久平和について学びの場を。
- A 原爆と人間展のパネル展示、成人式での平和宣言を行っている。

ん質問



南田孝是 議員

高齢者

外出支援策を

拡充を検討する

南田 議員

買い物に不安や不便を感じている方への支援として、町がワゴン車を無料で貸与し、地域のボランティアによる無料運行を提案する。

矢田 町長

本町では、介護認定者や障害のある方がタクシーやバスを利用する際の助成、福祉バスの運行などを実施している。地域福祉計画では、外出支援を必要とするすべての人が外出できるように、環境整備を行う方針である。今後、住民参加型福祉サービス事業の可能性や、よりニーズにあった福祉バスの運行、地域の主体的活動などについて調査研究を行いたい。



▲町を走る福祉バス

提案型補助金制度の創設を

財源が課題であり難しい

まちづくり

南田 議員

地域の課題や思いを実現するため、町内の団体などが自主的に行うまちづくり活動に対し、経費の一部を補助することで、協働のまちづくりが推進できる。

ミニポートピア津幡の売り上げの1%が群馬県みどり市から納付される津幡町環境整備基金を財源として活用せよ。



▲協働のまちづくり（小矢部市）

矢田 町長

第4次津幡町行政改革大綱に基づき、真に必要な活動を精査し、補助金の見直しを計画的に行っている。

地域で活動する団体の力を活用できれば、よりよいまちづくりが期待できるが、実施に向けては財源が課題となる。町環境整備基金はすでに運用が行われており、この制度への活用は難しい。

その他の質問

Q 健康づくり活動をポイント換算する健康マイレージ制度を導入せよ。

A 先進自治体の取り組みを調査研究した上で判断したい。



酒井義光 議員

ズバリ 町政を問う

いっば

町の農業

後継者の育成と 農産物の特産化を

後継者育成には国の支援策を、
アズの特産化を考えている

酒井 議員
町の基幹産業は稲作であるが、単価下落により魅力がなくなってきた。畑作物は手間がかかり、自然環境により品質や収量が大きく左右される。さらに、高齢化のため管理できず放置された畑も増えている。

矢田 町長
国は青年就農給付金や就農支援資金制度など、農業後継者の育成を図っている。町では2経営体がこの制度を活用しており、期待もしている。農産物では新たにアズの特産化を考えている。今後、他の農産物についても生産者からの要望があり、地域として育てる機運が高まれば特産化への支援を惜しまない。



担い手の育成を

空き家対策

シェアハウスとして
活用せよ

国の状況を見極めたい

酒井 議員

空き家を改装することで、初期投資を抑え開設できることから、全国でもシェアハウスとしての利活用が増えている。一戸の家に複数で暮らし、他人と交流すること

矢田 町長

で、要支援や介護を少しでも受けずに、健康に過ごせる期間を伸ばす目的もある。町として積極的に取り組め。

町が主体となり、空き家を借り上げ、シェアハウスとして運営することは、個人の資産価値の増加に公費が投入されることとの是非、地震などによる災害時の損害賠償責任の所在など議論すべき点が多い。

一方で、空き家解消策として有効であるとの指摘を踏まえ、国は規制の緩和も検討している。町として国の制度整備の状況を見極めたい。



▲活用が待たれる空き家

ん質問



八十嶋孝司 議員

災害対策

危険箇所の周知徹底を図れ

地域の防災マップ作成に補助制度を設ける



災害対策を万全に

八十嶋 議員

8月20日に広島市で発生した土砂災害は、死者、行方不明者が多数出るなど甚大な被害をもたらした。当町でも山を背にした家屋が多く、危険箇所もある。

自分たちの地域は自分たちで守るという認識のもと、区や自治会単位で地域の防災マップを作成するための補助制度を設ける予定である。

矢田 町長

深夜の避難行動には危険が伴うため、早目の避難準備情報や避難勧告、避難指示が適正に発令できるとの検討を重ねていく。

資源ごみ

どのように

還元されているか

それぞれの用途に
リサイクルされている

八十嶋 議員

つばたRecocoができて約5年、年々町民のごみのリサイクルへの関心が高まってきている。この施設ができたことを町はどのように評価しているのか。実績を含めて考

えを示せ。

さらなる意識の高揚につなげるためにも、持ち込まれた資源ごみがどのように還元されているか、周知せよ。

伊藤 生活環境課長

つばたRecocoの利用者は1日平均500人以上である。資源ごみのうち56%が回収されており、平成25年度の売却益は約326万円になる。

古着類は工業用ウエスや自動車のフェルト生地の原料に、ペットボトルのキャップはちり取りや子ども用のソリ、途上国ワクチン配給支援に、ボトル本体は卵パックなどにリサイクルされている。詳細は、つばたRecocoやホームページ、広報つばたなどで知らせたい。



▲資源ごみは何に生まれかわる？

その他の質問

Q 認定こども園に移行する園は。

A 町内で保育園を運営する1法人2園が移行する予定である。



荒井 克 議員

ズバリ
町政を問う

いっば

▶望まれる人工芝化



運動公園

多目的競技場を
人工芝に

具体的に調査を

進めている

荒井 議員

運動公園多目的競技場を人工芝化することで、利用者の増加や大会誘致も積極的に行き、より一層PRできる。
人工芝化は初期投資を要するが、維持管理費の

削減や芝養生による使用制限もなくなるなど効果もある。

有利な補助金制度の活用を推し進め、町民の期待する人工芝化に取り組む。

矢田 町長

多目的競技場の人工芝化については、町が事業主体とならない手法やスポーツ振興くじの助成を活用する方法など、具体的に調査、研究、協議を進めている。
さらなる助成金の検討を進め、人工芝化の実現に向け努力したい。

乗り継ぎ運賃は

通学定期に助成を実施

並行在来線



▲乗り継ぎ駅となる津幡駅

荒井 議員

来春、IRいしかわ鉄道(株)が開業する。当町でも通勤、通学で多くの人利用する中、運賃の値上げが懸念される。
JRとの合算運賃や乗り継ぎ割引制度の検討もされると聞くが、正式な運賃設定、乗り継ぎシステムを町民に周知すべきである。

町としての対策を示せ。

矢田 町長

IRいしかわ鉄道(株)の運賃は、開業5年目までは普通運賃および通勤定期は現行の1・14倍程度、

通学定期は同額に据え置く。6年目以降は普通運賃および通勤定期は現行の1・19倍程度、通学定期は1・05倍程度とする計画である。

また、JRなど他社の路線に乗り継ぐ場合、初乗り運賃の適用による割高が予想されるが、最大で3割程度に抑制する乗り継ぎ割引制度の導入計画がある。町内では津幡駅を境に中津幡、本津幡、能瀬駅からの運賃が上昇する。

県が進める乗り継ぎ割引制度を活用してもなお上昇する通学定期には、町単独の助成を行いたい。

その他の質問

Q ミニポートピア津幡の現状は。

A 問題はなく、懸念もない。

Q 町浄化センターで再生可能エネルギーを

A 検討する。

ん質問



黒田英世 議員

学 校

避難所としての機能強化を

順次整備を進めている

黒田 議員
東日本大震災において学校が地域住民の避難所として大きく貢献した。その反面、さまざまな避難生活上の課題が浮き彫りになった。これらを解決するには、教育委員会と防災担当部署の連携・協力が不可欠と考える。飲料水や非常食の備蓄など、学校の避難所としての機能強化を求める。

矢田 町長
教育委員会は他の部局と同様に、町の地域防災計画で事務内容が決められている。学校での災害備蓄品は、各学校に近い備蓄倉庫から搬入する。さらに、避難所としての機能を高めるため、体育館天井の耐震改修を進めるほか、プロパンガスを利用した自家用発電機の設置も研究している。



◀災害時には避難所に
(津幡中学校)

不登校児

「ゼロ」に向けて取り組み

解決に向け取り組んでいる

黒田 議員
近年、全国的に不登校児が増加している。当町では、就学前教育やスクールカウンセラーの設置などさまざまな対策をとっているが、町は不登校児の実態を把握しているか。

教育委員会は「もしかして」という一歩踏み込んだ想像力を働かせる指導をせよ。また、関連組織と連携し、不登校児ゼロに向けた取り組みを強化せよ。

早川 教育長

平成25年度、病気などを含め30日以上登校できなかった児童生徒数は、小学校全体で0・2%、中学校全体では1・9%である。

これらの対応については、さまざまな角度から学校全体の問題として教職員一丸となり取り組んでいる。教育委員会としては、教職員の指導力の向上と支援を図りたい。さらに、医療をはじめとする関係組織、機関との一層の連携、協働を図り、課題解決に向け取り組んでいる。



▲魅力ある学校づくりをさらに推進
(津幡南中学校)



西村 稔 議員

ズバリ
町政を問う

いっば

再生可能エネルギー

中山間地に

エネルギーパークを

民間業者に支援協力したい

西村 議員

中山間地には、原野や遊休地が点在しており、再生可能エネルギーの投資が行いやすい。この投資は、働く場の提供や遊休地の活用により、町の収入増につながる。中山間地を活用したエネルギーパークをつくる計画はないか。

矢田 町長

町が主体となり発電事業に取り組むことは考えていない。しかし、再生可能エネルギーの活用は重要であり、中山間地の活用を含め、民間主体の事業について積極的に推進したい。
また、計画中の農業公園にマッチし、寄与できる再生可能エネルギーについても、民間業者と具体的に検討している。



▲自然エネルギーの活用を（富山太陽光発電所）

議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします



津幡町HP携帯版

みんなで楽しくやってみよう!!

サークル紹介第20回

白鳥吟詠会

シグナス詩吟教室
中条詩吟教室

吟詠は人生の友



詩吟は漢詩に節をつけ声に出して吟じます。よく難しそうと言われますが、お腹の底から思いつきり声を出して気分スッキリ爽やかになり、血行もよく健康づくりに役立っています。また、たくさんの詩にふれ、心の栄養剤ともなっています。

講師 なかしま 中嶋 初子

源平俱利伽羅を詠う全国吟詠大会、シグナス芸能祭、ボランティア活動ほか、県、各吟詠大会などの参加発表に向けて頑張っています。ただいま、年齢を問わず仲間を募集しています。気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

☆シグナス詩吟教室 毎週(土) 19時～21時
☆中条詩吟教室 (中条公民館) 毎週(木) 20時～

◆連絡先 090-82269-19333 (中嶋)



ディスカバー つばた⑨

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

～庭田次平の碑 (南中条)～

津幡駅前ロータリーに、同駅開設に尽力した庭田次平の顕彰碑があります。

1898(明治31)年に北陸線が金沢から富山まで延長されようとしたとき、停車場として自分の敷地を無償で提供し、南中条に津幡駅を設置したのをはじめ、多方面において数々の実績を残しました。



表紙の題字は

条南小学校6年

羽根 亜依さんの作品です。

私は、森林公園など自然の中でたくさんの経験ができる津幡町は、とてもいいところだと思います。



あとがき

先日、新潟県長岡市にあるちみじ園を視察してきました。なぜモミジかといえば、町で計画中の農業公園に広く植栽されるからです。

この園には、樹齢100年を超えるものや、手入れされた大小のモミジの木があり、歴史を感じさせ、モミジを知るよい機会となりました。

人それぞれに思いはあるでしょうが、農業公園計画にあるモミジ山も後々まで見る人たちにとって記憶に残るよりよい公園であってほしいと願わずにはいられません。モミジがすくすくと育つことを夢み、今後の計画に期待するもので。

(八十嶋)



- 編集委員長 黒田 英世
副委員長 酒井 義光
委員 八十嶋孝司
荒井 克
森山 時夫
塩谷 道子